

SSKA 東腎協

2001年1月25日

No.136



町田・花栽培場（東野榮夫）

おもな記事

特集／新春座談会

21世紀を迎え、東腎協の明日を語る…………… 3

- 東腎協活動の窓… 7 ■ リレーエッセイ／清水国衛… 11 ■ 会員さん訪問〈77〉／宮岸克成・雪子夫妻… 12 ■ なかまのたより… 14 ■ 私たちの患者会／大田病院腎友会… 17 ■ 共に生きる⑩／加藤 茂… 18 ■ コラムおおつか発／高橋勇二郎… 19 ■ 表紙の言葉／東野榮夫… 20

東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）

事務局・〒■■■■■■■■■■ 豊島区南大塚 ■■■■■■■■■■
郵便振替口座 00150-0-128390 ☎03-3944-4048 FAX03-5940-9556

E-mail touzin@msj.biglobe.ne.jp

<http://www.redbit.ne.jp/~mabo/toujinkyou.htm/>

年頭あいさつ



東腎協のさらなる 前進を願って

東腎協会長 糸賀 久夫

新年あけましておめでとうございます。

新世紀のスタートにあたり、会員の皆様には、ご健勝で新春をお迎えになられたことと存じ、謹んでお喜び申し上げます。

昨年は石原都政下で、現実には、はじめまった福祉切り捨ての数々が、私たち透析患者に重くのしかかってきました。具体的には、心身障害者医療費助成（マル障）は九月より本人の所得制限が強化され、新たに老人保健法に準じた一部負担を導入しました（住民税非課税の方は、入院時食事代のみ自己負担）。さらに、新規六五歳以上の方は対象外となりました。東京都医療費助成（マル都）の特殊医療（人工透析）は九月から入院時食事代が自己負担になりました。

心身障害者福祉手当は八月より所得制限が強化され、新規六五歳以上の方は、対象外となりました。その後、一二月に改正が決まった老人保健法の一部自己負担の見直しはマル障の一部自己負担対象者にもはなかり、さらに負担が重くなります（但し、薬剤費一部負担は廃止）。

二一世紀に入り、夢や希望のあ

る社会を願いたいものですが、現実には、高齢化社会のプロセスの中で、医療保険の抜本改正をはじめ、年金財源の悪化、介護問題、医療事故の続発など多くの課題が前世紀から引き継がれ、厳しい新世紀の幕開けとなりました。

また、透析医療の環境も全国の透析患者が二〇万人の時代に入り、長期透析による合併症、糖尿病性腎症による透析導入者の急増、肝炎などの感染対策、災害対策などどれをとっても難問が山積しています。

特に、国民病とも生活習慣病とも言われている糖尿病からの透析導入は、目の障害や神経障害も伴い大変深刻です。

「腎不全で苦しむのは私たちがだけでなくさんだ」との願いから腎不全対策を求めて結成されたのが私たちの東腎協です。その原点に立って、私たちの医療と福祉の向上をはかるとともに、糖尿病からの透析導入を増やさないための啓発活動も大変重要なテーマとなっています。

また、今日的な課題として合併症などによる通院問題も厳しいものがあります。東京都の福祉改革

ビジョンでは、在宅サービスの実をうたっていますが、具体的に、透析患者が使いやすい移送手段やヘルパーの確保など、通院移送の新たな支援システムの策定を求めています。

新世紀を迎え、改めて透析によって生命を維持されていることに感謝をし、いま、生きていることの喜びを感じます。グローバル化の今、世界が狭くなった現在、一方に医者がいなくなれば、薬を買うお金がないために命を落とす人々があります。多くの矛盾に充ちた社会の中で、私たちはかけがえのない生命の尊さを実感します。

不確実な時代と言われる今日、生命と暮らしを守るため、私たち役員一同、心新たに諸課題に取組みますので、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。



21世紀を迎え東腎協の明日を語る

出
席
者

- 小野 協子 / 東腎協常任幹事、青年部長 (生年月日?、透析導入年月日1996年1月5日、東海病院ひまわり会会員)
- 星野 裕介 / 東腎協常任幹事、青年部副部長 (生年月日1974年5月20日、移植年月日1995年8月、個人会員)
- 大崎 春美 / 青年部幹事 (生年月日?、透析導入年月日?、虎の門高津会会員)
- 岸里 悟 / 青年部幹事 (生年月日1962年10月18日、透析導入年月日1996年1月29日、森山病院友の会会員)
- 戸倉 振一 / 青年部幹事 (生年月日1959年2月7日、透析導入年月日1997年、森山病院友の会会員)



「司会 続いて、これから東腎協を担うと期待されている戸倉さんいかがでしょう。」

戸倉 まだ三年目ですから、分らないところが多いので、一つ一つ勉強と頑張ってやっています。二年目から病院の役員を頼まれ、始めることなら何でもやりましよう、始めま



「司会 二一世紀を迎え、新しい時代を担う青年部の皆さんの東腎協・患者会に対する考え方を、本音で語っていただければと思います。」

先ず口火を青年部長の小野さんからお願いします。



「司会 二一世紀を迎え、新しい時代を担う青年部の皆さんの東腎協・患者会に対する考え方を、本音で語っていただければと思います。」

先ず口火を青年部長の小野さんからお願いします。

「小野 高齢化しているので、若い人が率先して会を運営していかねばいけないと思いますが、すんなりと受け入れてもらえない点もあります。期待を持っていただくのはうれしいのですが、受け入れる体制をもっとつくってほしいと思っています。」

「司会 続いて、これから東腎協を担うと期待されている戸倉さんいかがでしょう。」

最近、若い人の透析導入は減少している。しかし、年齢が若く、透析年数も少ない会員が今後の会活動の大きな部分を担っていかねばならない。東腎協も、青年部が組織化されてから、すでに一〇年が経過した。二一世紀を迎えるにあたり、若者の目から見た東腎協について、青年部の皆さんに話し合っていた(司会・幹部和之編集委員)。

した。「森山病院友の会」では年齢に関係なく、何かできることをやるという形で、チームプレーで、うまくいっている感じですが。「江戸川腎友さつき会」の会計も今年から、ふだん世話になっている東腎協副会長の森田さんから言われまして、やっています。

江戸川区で今回、災害時に透析者識別の腕章を区長のご理解を得まして、「さつき会」の会員プラスアルファの三〇〇名分を配って頂くことになったのですが、当初区長との面談では見解がすれちがって理解が得られませんでした。その違いを考え、役員会で激論を交わし、文書にしました。原会長が加筆して、要望書を再提出したところ、区長さんは納得してくれたそうです。長年、同じ役についていると柔軟性がなくなるように見受けられますが、若い人たちが見て悪いと思ったら、失敗を恐れなくてどんどんやれば良いと思います。

東腎協に対しては今のところ、観察しているという状況です。私には今、中学一年生と小学校五年生の息子がいます。私自身はやりたいうことやってきました。別に思い残すことはない、生きてるだけで幸せだといううような部分がありまして、子供たちが幸せに将来

察らせるような社会に、東腎協を核に運動できればいいかなと思ってます。

司会 次に透析では長くて、経験豊富な大崎さんお願いします。



大崎 透析導入時の平均年齢が六三歳という現状から見ても、お年を召した方が多い会で、暗い、硬い感じでしょうか。若いから、入っ

ていろいろやらされちゃったらいやだなとか、若い人をこれから東腎協に向けてるのは大変だろうなという感じが、実感としてありますね。昔は、機械が足りないとか、治療代が払えないとか、すごく身近な問題があったんですけど、今あんまりないですよ。そうすると、東腎協よりも、健常者と一緒に遊んでた方が楽しいでしょうから、若い人を東腎協に向けているには、なんか違う姿をもっと見せていかなーといけないんじゃないかと思うんですけどね。

司会 次に、常任幹事で、三年目ぐらいですが、星野さんよろしくお願いします。



星野 自分は、参加も協力もできてないというところで、悪いことしてるなというところがあるんですけどね。偉そう

なことは言えないと思

自身今は移植しているんですが、五年ぐらい前は透析で、同じ病院だった方に、こういう組織があるんだけど来てみないかってことで、一回常任幹事会の方にオプザーバーとして参加して、驚いたと言いますか。

気軽に参加できれば

患者は一人一人がこの病気に向き合って、ただときどきベッドの回りの人と、ちょっと病気に關してお話しするぐらいのかなと思ってるんですけど、組織があつて、例えば社会保障のこととか、合併症のことについて話し合えたり、東腎協とか全腎協という、患者会の組織が行政に働きかけて、自己負担が無くなってきたという、そういうことがあることを知ってます。こんな感じを感じました。それで、印象としては、確かにすごく大事な部分はあるんですけど、中でもあったらいいんですけど、僕なんかまだ若かったせいもあるんですけど、ちょっと取っつきにくいというんですか、難しいというような印象があつたんです。

若い人の受け止め方としては、自分と同じ病気を持っていて、なおかつ同じ世代の人と交流することを、求めてるんじゃないかという気がします。難しい話とかもちろんあるわけですが、気軽に参加できるような形に、何か自分ができるいいなと考えております。

司会 では最後になりましたけど岸里さん。



岸里 参加するきっかけは、東腎協副会長の森田さんが同じ病院でしたので、まず青年部に参加してみようと思いました。うちの病

院は患者会自体すっかりたいていて、すていう環境ができていた。江戸川区民ホールとかで常任幹事の方の話を聞いて、医療、福祉全般に知識が詳しいので、まずそういうこと勉強しないと太刀打ちできないと思

司会 今皆さんに一通りお話何って、やはり世代のギャップが出てましたけども、これを埋めるために、具体的にどうしていったらいいんでしょうか。

小野 青年部では、独自に交流会を催し、多々の方々に参加いただいています。青年部活動だけでなく、各病院の会活動、東腎協の行事などに積極的に参加して欲しいと思います。各患者会幹事の方、常任幹事の方々と接点を持ち、学ぶ体制を作らなければ世代交代はできないと思います。

常任幹事はほとんどリタイヤした人が多いので、時間的にも余裕があります。若い人たちは仕事で、日曜日ぐらいしか空いている時間がない。そういう中で患者会活動をするのは負担が大きいですけども、自分達が、今までやってきてくれた人たちに期待されてい

るんだ、必要とされているんだということがわかれば、もつと積極的に参加してもらえらんじやないかなと思います。

常任幹事と青年部の交流を

青年部はこれからもつとがんばっていかなくちゃいけないと思いますし、またこの前の腎キヤンペーンに、青年部の何人かが参加してくれたんですけれど、常幹の人たちと、交流できる時間が少しかけでもつともらってれば、常幹の人たちと青年部が一層親しくなっているんじゃないかと、後になって感じました。

司会 ほかの方は何か具体的に、提案でもいいですが。戸倉さん。

戸倉 大勢が参加する常任幹事会とかそういうところで交流しようというのは、まず不可能ですね。私の今までの経験では、やはり少ない人数で何か一つのことをなして遂げるということをして初めて、なんか心が一つになると思うんです。今いろんな委員会というのがありますよね、そういうのにも参加できるようにして、少しでもかかわることで相互理解が深まり、つながりができるんじゃないかという気がするんですけど。少ない人数でちょこちょこあつちこつちでやらないと、だめなんじやないですか。絆がもつと深くなるよいうな、会を企画する必要があると思います。司会 大崎さんなんかは、いろんな角度から

東腎協を見ているんですけど、具体的にはどんなふう。

大崎 やはりコミュニケーション不足ですね。普通みんな、病院に来て透析を受けて帰るだけで、あまり話ってしませんよね。外で会うとかお茶飲んで雑談するとかないから、いざ患者会に入らませんかとか言われても、いくら活動してきたんだとか、必要なんだとか言われても、あんまり実感できないと思うし、昔はみんな一緒に頑張りましようみたいなことあったんですけど、さつき戸倉さんが言ったみたいで、大きい人数じゃなくて少ない人数で話をする機会があるといいんじゃないでしょうか。

司会 星野さんから、具体的にこうしたらいいのではということはありませんか。

星野 そうですね。実際、若い人って範囲が難しいんですけど、例えば三〇、四〇歳以下の人ですね。実数としてどれぐらい、どの病院にいるかが、もしわかれば、何かしらの形でこういう企画をやってますとか、こういう話をしてみませんか、とかいうことができると思うんです。

司会 岸里さん、先輩からこんなふうと呼びかけてもらいたいとか、要望ありますか。

岸里 あんまり偉い人は知らないんですけど、うちの森田さんと、あとうちの総会に来ていただいた、藤原さんぐらいしか知らないんですけど、ものすごく頭がよくて、敬語もろくできないいとしやべりかけられないっていう感

じです。

司会 そんなことはないですよ。ざっくりばらんじやない。

大崎 でも、その近寄りがたいっていう感じはわかります。岸里さんが言ってる。

次の世代へつなごるを

岸里 仮に森田さん、藤原さんは知っているから話せるけど、知らない常幹の方がいたら、向こうから話してくれないと、多分自分からは話しづらいと思います。大崎さんが言った、気楽さがあれば青年部員はもつと増えると思うんです。だからここに出てきている人は、かなり前向きにやってる人ですが、まだ埋もれているような人はほとんど開拓していかないと、次の世代につながる感じがします。司会 本場にその通りだと思っただけ、僕も五〇近いんだけど、常幹の中では違和感が感じられることが時々あります。若い人が進んでやっていくと、いつも、本場というやつたっているのかなと、いつも思っています。司会者で個人的な意見ですが、私とか若い常任幹事がグループで発言するような、集まりかなんか持った方がいいのかなと、たまに感じるくらいです。

小野 常任幹事の人たちも、みんなそれぞれ自分の病院の患者会があるわけですね。森田さんは自分のところの患者会で、こういった若い人たちをすくよくよく育てていらっしゃる

と思うんです。他の会から、あまり若い人が参加していないのが現状なんですけれども、もっと自分のところの患者会の若い方とコミニケーションをとって、患者会の若い人たちが自分たちで開拓していくとか。若い人たちが例えば患者会とか入っていないか。若いうちと声をかけたら、患者会に参加してもらえるようにしてほしいと思います。

私たちが年に何回か交流会を開いているんですけども、たまに常幹、会長とか、ボウリングのときは軽部さんが、来ていただいたりしていますけれども、もつと歳がいった人でも、見学とかに来てくれるといいんじゃないかと思うんですけれども。

司会 常幹の人も積極的に若い人をやはり引っ張り上げるといふか、そういうことは必要ですよ。

戸倉 核になるのはやはり患者会でしょうね。そこでお年召した方と若い方がきちっと連絡がとれないと、いきなり東腎協単位で連絡とれと言つても無理ですよ。やはり、患者会で頑張つてくれないとだめですかね。今大事なのは地域単位の患者会ですよ。

司会 常任幹事ということで灯台も暗しみたいなどころはあるんですよ、自分のところの患者会もなかなか会員数をふやすとかそういうこともできないようなことも。時間も追っているんですが、最後に、全体として何かこれだけは青年部として自分たちから今、批判でもいいんですが、東腎協をこうしてい

きたいというような、二二世紀を迎え、自分たちの時代になるわけですから、必然的に東腎協を背負っていかなくちゃいけないわけですので、その辺の抱負というか自分の気持ちも含めて一言ずつお願いします。大崎さん。大崎 もつと開かれた東腎協というか、キャッチフレーズじゃないんですけども、閉鎖的なところをなくせば、見方を変えようと思うんです。会に入る役員やらなくちゃいけないとか、なんかかたいことばかりやっていくからおもしろくないと思つて入らない人もいると思うんですけど。でも、同じ病気の人たちと話をするとするのは、必ずその方にとつてもプラスになりますから。そうなれば、会活動もいろいろすんなりやっていけるんじゃないかと思えます。

司会 星野さんは。

一般人に透析を提示

星野 同じ病気を持った人同士、気軽に参加できるような場であつてほしいということ、もちろん、国の経済・財政も大変なのでなかなか医療費の自己負担なんかも、かたくていやな話ではあるんですけど、警告を呼びかけるといふのは、そういうたスタンスを、単なる交流組織じゃなくて、その辺の運動を、維持していかなければいけない。偉そうなことを言つちやいけませんよ（笑）。それと、私たちはこういうことをやってい

ますというような形で、透析というのはこういう病気で、もちろん大変ではあるんですけども、全然働けないとかそういうことでもないわけですし、一般の人にもわかるような形で提示できたらという思いもあります。司会 岸里さんは、こういう形だったら東腎協といふか患者会活動に、自分も参加していけるかなということも含めて。

岸里 まだ始めたばかりでよくわからないんですけど、青年部にこれからよくよく参加して、常幹の人たちの考え方が、やはりこれから医療も赤字財政で逼迫してくるので、どのようにこれからやっていってほしいのかとか、その辺はアドバイスを次の世代につなげられるような活動を、勉強していきたいと思えます。

司会 時間もそろそろきたようなので終らせていただきますが、若い人の考えを、常任幹事が受け止めるためには、対話とか、こういう場に、聞くだけでも参加してもらつて若い人のことがわかるような場所を、つくっていくのがいいんじゃないかという印象ですね。青年部の交流会に、常任幹事も参加して、皆さんの活発な意見とか行動力を見ることも、本当に大事じゃないかと思えます。

本当につたない司会で、皆さんしゃべりにくかつたと思うんですけども、貴重な土曜日、ありがとうございました。

（記録・写真／木村）

各ブロックで臓器移植推進
キャンペーンを実施



腎移植キャンペーン（立川で）

平成二二年一〇月八日、東腎協の四つのブロックで一斉に臓器移植キャンペーンを行いました。

北部は、池袋駅東口富士銀行前

東腎協 活動のほど

に三八名、東部は上野公園大噴水前広場に六九名、中南部は新宿駅西口に四六名、多摩部は立川駅に八六名が参加しました。行動内容は、のほり、パネル、着ぐるみなどでPRし、臓器提供意思表示カードを三万枚、そして、各地域腎友会でも三〇〇〇枚、合計三万三〇〇〇枚を配布しました。

都議会各政党に 二〇〇一年度予算要望

東腎協から「今年度は「財政再建推進プラン」による諸施策の見直しにより、心身障害者医療費助成や心身障害者福祉手当などが大幅に後退し、私たち透析患者には厳しい時代のスタートとなりました。私たち透析患者をめぐる状況は、高齢化、糖尿性腎症からの透析導入の増加、さらには長期透析による腎性骨異常栄養症、透析アミロイド症等の発症による要介護透析患者の急増など、生活する環境は厳しさを増し、その対策が急がれています。

また、腎臓移植とりわけ死体腎移植は、臓器移植法施行後も腎臓提供者が極端に少ない状況が続い



各政党に2001年度予算要望

ており、私たち患者の希望にかなう状況にはいたっておりません。私たちの心配している災害対策についても、多くの犠牲者を出した阪神大震災の貴重な経験が無駄にしないよう、早急に確立しなければなりません。

二〇〇一年度の東京都予算編成にあたり、病気の予防から死体腎移植まで含めた腎疾患総合対策の推進、災害時の緊急透析対策の確立、医療費公費負担の充実、通院介助など透析患者が必要とする福祉対策のいっそうの充実などを中心に、次の項目を実現くださるよう要望いたします」として、六月に都へ要望した「二〇〇一年度東

京都予算に関する要望書」をもとに、一〇月二日、共産党、公明党に、一九日、民主党に直接面会し要望しました。

これに対し各党から「今回要望のあったことを踏まえ、よく検討して、来年度予算編成に何を取り入れるか、党全体で協議して決めていきたい」と回答がありました。その他の、東京都議会自由民主党、都議会無所属クラブ、生活ネットワーク都議団、自治市民、社会民主党に対してはそれぞれの事務局に同様要望書を提出しました。

青年部の活動

平成二二年一〇月二八日（土）二九日（日）に埼玉県大宮市の大宮ソニックシティで開催されました「関東ブロック青年交流集会」に東腎協青年部からは、一〇名が参加しました。

初日の二八日は、大宮ソニックシティの会議室にて、埼玉県腎臓病患者友の会会長長谷川孝氏の講演「会活動」を拝聴し、その後の全体会議では、「青年部の現状」「患者会の意義」「雇用問題」などの議題を中心に、各県の青年部

の抱える問題について意見交換を行いました。

翌日の埼玉県の「小江戸川越」のバス旅行でも、他県の方々との会話を弾み、楽しい時間を過ごせました。各県の青年部とも、多くの問題を抱えている現状ですが、今後も、情報交換を行い、互いに協力しながら成長することを誓い合いました。

東腎協青年部主催の交流会としては、一月五日（日）中央区の「労働スクエア東京」にて「透析食料理講習会」を開催し、二名が参加、四グループに分かれ「肉じゃが」「和風サラダ」の調理に取り組みました。グループ別に調味料に差をつけたり、市販の食品を加えて試食を行い、味のちがいを感じました。今回の交流会では、会員同士が同じ目標を持ち、同じ作業を行うことにより、連帯感、親密感を育むことができ、また、参加者の方々からの感想も好評でした。

今後も、東腎協青年部では、会員の皆様に喜んでいただけるような企画を計画する予定です。青年層の方々、どうぞ、積極的に参加して下さい。

個人会員交流会

一月一九日（日）午後一時より、神田駿河台の総評会館で行われました。会場は満席で、車椅子で参加された方もおりました。

第一部は、ビデオを鑑賞しながら鶴田クリニック院長・鶴田幸男先生が、基本的な透析の話をされ、その後質疑応答をおこないました。改めて自己管理の方法とか透析の基礎医学について再考できる機会になりました。

なかでも、手のシャント部の保護のため、ひざ用のサポーターを



個人会員交流会で講演を聞く参加者

使用するというのは、いい勉強になりました。親しみやすい先生の講演で、大変好評でした。

第二部は、東腎協組織に対する意見交換を行いました。個人会員が四八人、役員一人の合計五九人が参加しました。東腎協では、現在五七〇人くらいの個人会員がいます。

理由あつて患者会が作れない、人が集まらない、透析に行っても誰が会員なのか相談する相手もわからない。自分の病院の透析が他の病院と比べて良いのか悪いのか、透析中の食事はどうか。患者とスタッフのコミュニケーションの取り方とか、院内感染の問題、長期透析による合併症の問題など、一人で解決するのは難しいさまざまな問題があります。

今後も個人会員の交流会を開催していく必要があります。

民主党・和田宗春議員 紹介で 都衛生局と話し合う

平成二二年一月二四日、都議会民主党控室において、先に都議会各党派との話し合いをふまえて、



民主党和田議員（左）と衛生局で話し合う

民主党・和田宗春議員から「自分も立会うので、衛生局と直接話し合つて欲しい」と提案され、和田宗春議員、衛生局からは中西課長、古澤課長補佐、東腎協からは糸賀会長他3名が出席し、議員紹介で行政側との話し合いの場を設けることができました。東腎協からは、医療費公費負担拡充や医療保険改革後の医療費助成についての要望、また、都立病院に対する要望などをしました。

さらに和田議員から「予算が厳しいのは分かっているが、障害者の切実な要望に対し、ぜひ配慮していただきたい」との助言があり

ました。これに対し特殊疾病対策課長から「都立病院関係の件は担当外なので返答しかねるが、それ以外の件については、局の中で話し合ってみよう」との事でした。

最後に和田議員から「こういう直接対話を、今後も機会をみて実施していきたい」との提案があり終了しました。

都福祉局と「通院移送サービス」について話し合う

かねてから、福祉局に申し入れしてあった「通院移送サービス実施のための検討会」が、平成二年一月三〇日、福祉局からは担当係長四名、東腎協からは系賀会長他四名が参加して都庁会議室にて初めて開かれました。

東腎協からは、板橋通院サポートセンター・さくらの会の資料などを参考に、「透析患者の特殊な条件からみて、現在都が実施している福祉のホームヘルパー派遣による通院介助だけでは不十分であり、各区市町村の福祉タクシー券の発行も不十分である。このため地域患者会や団体がボランティア

を募り、自主的に通院移送サービスを実施しているが、小規模でかつ資金不足であり、患者の要望に充分応えられていないのが現状である」などを説明しました。

これに対し、福祉局から「先に発表した福祉改革ビジョンは五年間にわたって改革を行なうことになつていけるが、その中でこの問題も解決できればと思っています。この問題に関しては現在バラバラに実施されている施策（ホームヘルパーの通院介助、タクシー券発行、ガイドヘルパーの派遣等）を総合して何か良い方法がないかを探していきたい。東腎協も知恵を貸して欲しい。そのためこの会は今後も継続して実施していきたい」と回答されました。

最後に「通院移送サービスは介護保険法の中に含まれていないため、こういう問題が起きるわけであり、今後五年後には見直すことになっていくので、都としても厚生省に対してこの問題を提起していただきたい」と東腎協から要望して終わりました。

各ブロック交流会開催

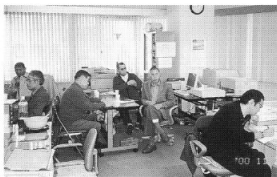
東部ブロックでは一〇月二十九日（日）、江戸川区総合区民ホールにおいて、三五名の参加で、学習交流会を、多摩部ブロックでは一月五日、日帰りバス旅行で厚木市にある飯山温泉へ、四〇名が参加し、交流を深めました。

中南部では一月二十六日（日）、東腎協事務所において、北部は一二月三日（日）、南大塚社会教育会館で患者会役員交流会が、それぞれ開催されました。

中南部、北部の交流会は、東腎協の組織強化、会員拡大をメインテーマに話し合わせ、両ブロック



東部ブロック学習交流会（10月29日）



中南部ブロック役員交流会（11月26日）



多摩部ブロック日帰り旅行（11月5日）



北部ブロック役員交流会（12月3日）

国会請願書を再提出

全腎協が昨年三月に行なった第二九次国会請願は六月の衆院解散で「審議未了」とされました。「一〇〇万人近い署名を無にしなさい」という方針で十一月十六日、全腎協理事および各県の会長の署名に

よる、先の請願と同一内容の請願書を、衆・参合わせて五九名の紹介議員に再提出しました。東腎協からは糸賀会長他四名の役員が全腎協役員と共に、透析患者の介護保障などを要望して各議員に要請しました。

また、JPCの国会請願書も一月二〇日、森田副会長他五名が参加して再提出しました。

なお、昨年末にお願した第三〇次国会請願署名は三月に請願を行なう予定です。

第四八回関東ブロック会議を千葉で開催

二月九日（土）～一〇日（日）、千葉県ホテルポートプラザザらばにて、東腎協から糸賀会長他五名が参加し全腎協第四八回関東ブロック会議が開催されました。

年末の関ブロ会議は、例年東京で開催してきましたが、今回から東京、千葉、埼玉、神奈川の一部三県の持ち回りになり、今年は千葉県で開催になりました。

会議の初日は、中村和子千腎協会長の挨拶に始まり、一ノ清ブロック担当理事（東京）欠席のため、

長谷川崎腎友会会長の挨拶、高橋理事（東京）より全腎協第二八回理事報告があり、次に議題に移り、意見の交換を行ないました。

二日目は、三つの分科会に分かれ、「会員拡大の取組み」「腎友会役員の問題」「通院移送サービスの問題」「介護保険について」「助成金制度、義援金について」などが話し合われ、最後に一ノ清ブロック担当理事の辞任に伴う後任のブロック担当理事に千葉の中村理事を推せんして予定の議事を終了し閉会しました。

他障害者団体とともに座り込みに参加

昨年度は、東腎協会員の皆さんに、ご参加いただいで、マル障の改悪阻止のため都庁を囲む座り込みと人間のくさりの活動を展開しました。今年度も、二月八日に、東腎協、副会長と常任幹事をはじめ、各病院の有志が、他の障害者団体とともに、都庁を囲む人間のくさりの座り込みに参加しました。この運動により、私たちの生命と暮らしを守るための意思を表示しました。

東腎協今後の主な活動予定

会員みなさんのご協力が東腎協活動を支えています。

3月22日（木）全腎協国会請願行動日

参加希望者は東腎協事務局まで

3月25日（日）第46回東腎協幹事会

4月22日（日）東腎協第29回総会

5月19日（土）全腎協大会前夜祭

5月20日（日）全腎協第5回大会



人間のくさりに参加

リレー・エッセイ

一九九八年に
定年退職し、自
由の身となった
ので、透析患者
向けのツアー
(イタリアハイ
ライト八日間)
に参加してみた。

をわきりにローマの四大聖堂に
ある聖年の扉が二五年の時を経て
開放されている。(聖年の扉は二
五年間コンクリートで固めてある
という)
僕たちが見学をしたサン・ピエ
トロ大聖堂は壮大にして壮麗、宗
教の違う僕でも心打たれるものが
あった。

また、サン・ピエトロ大聖堂に
は、世界各国から多くの巡礼者が

く、ナポリではバスの中からの観
光となり、バスから降りたのは人
気(ひとけ)ない街外れでナポリ
を一望しただけだった。
イタリアは自動車を購入する時
に日本のような車庫証明がいらない
ということ、街の中には車が
溢れている。

また、駐車をする時にサイド・
ブレーキをかけないで駐車するの
がマナーのようで、車を出すとき

る。今回のツアーでも八〇歳の女
性の患者さんが旅行を楽しんでい
た。
しかし、透析を受けた翌日は
少々辛かったようだ。夜間透析で
透析開始が午後七時というときも
あり、ホテルに帰るのは一時間を
過ぎたこともあるのでやむを得な
いかもしれない。

透析は安心して受けられる。病
院も綺麗で一部屋にベッド四台で
広々としている。

高齢者でも自分のペースで海外旅行

透析導入後、(透析歴一四年八ヶ
月)初めての海外旅行だったので
多少の不安はあったが、さしたる
トラブルもなく楽しい旅行ができた。
昨年はキリスト
生誕二千年と二五
年に一度の大赦の
年が重なり、サン
・ピエトロ大聖堂

東腎協常任幹事(新宿水明クリニック) 清水 国 衛

来ていて、ミサの行われる日は聖
堂前の広場は巡礼者で埋め尽くさ
れる。さすがはカトリックの総本
山だ。

ローマのスペイン階段近くの通
りでスリに狙われた。少女を連れ
赤ん坊を抱いた女のスリで危うく
被害に遭うところだった。ガイド
ブックで、ある程度の知識を得て
いたので事無きを得たが危ない危
ない。

外国では治安の悪いところが多

には前後の車にぶつけて動かして
出て行くためイタリア人は車は
少々傷ついていても動けば良いと
いう考えのようだ。

それにしても昼間は見られなか
った高級車は夜ともなると、有名
レストランやカフェのあるヴェネ
ト通りに「ずらり」と並び華やか
な一面をみせている。

海外旅行は体力勝負ということ
もいえるが、高齢者でも自分のペ
ースで旅行をすれば、充分楽しめ

いので、体重増加は注意が必要だ。
旅行は楽しいものだ。体調を調え
てまた海外旅行にいきたいものだ。

上はしてくれな

除水は三キロ以

下はしてくれな

また日本人の通

訳が付き、透析

方法も日本と変

わらない。ただ、

上はしてくれな



会員さん

訪問

第77回

調布東山クリニック

克成 雪子 さん
宮岸

透析導入後に結婚

「お二人は、結婚四年目とのことですが、お二人とも透析導入後の結婚だったのですか。」

克成 二人とも透析導入後に知り合い、透析患者同士として結婚しました。

「お二人は、どのような経緯で透析導入となったのですか。」

克成 私は現在三四歳になります。一三年前の、二一歳で透析導入となりました。当時、私は警備員の仕事に就いていましたが、夜勤の連続で、体への負担が大きく自分自身でも無理をしている事が

今回の会員さん訪問は、透析患者同士で結婚し、現在、夫婦で協力し合いながら、整体院を経営している宮岸克成、雪子夫妻を取材しました。お二人で昨年九月に、京王線世塚駅前のマンションの一室に開院した、とても、清潔な整体院を訪問しました。

解っていたのですが、仕事を続けていました。

そのような毎日を送っている中、突然、体の異常を感じ通院した時には、慢性腎炎と診断され、そのまま透析導入となりました。

本当に、緊急の透析導入でしたし、それまで、全く透析に対する知識も無かったので不安も大きかったです。

雪子 私は、透析歴一二年です。二四歳で透析導入になりました。

二〇歳頃から一般事務の仕事に就いており、上司、同僚にも恵まれて楽しい日々を送っている中、体調の不良を感じ医師の診断を受けたところ、慢性腎炎とのことでした。その後は、仕事を続けながら通院と治療に専念しました。

しかし、発病より三年後の平成元年に、血液検査の結果が最悪の状態となり、ついに透析導入となりました。慢性腎炎で通院していたので、医師より透析についての話を聞いていましたし、いずれは

自分も透析を行う体になると解っていました。一日でも、導入を遅らせたいたと努力を重ねてきたのでショックは大きかったです。

透析導入後の生活では、何か変化がありましたか。

克成 私の現職であった警備員の仕事は、時間も不規則の上、体力も必要とする為、やむなく退職し透析を続けながらできる仕事に就く事を考え、整体師の資格取得する決心をして、整体師養成の専門学校に入学しました。

辛かった日々を越えて

しかし、両親から金銭的援助を無心できる状態では無く、自分の貯金も学業終了迄の二年間を補うだけのものが無かったので、フランクンス料理店で学費を稼ぐための皿洗いのアルバイトを続け、何とか食い繋ぎながら整体師の資格を取得しました。現在振り返っても、あの頃は辛い毎日でした。透析患者として体を癒さなければならな

いと思う反面、整体師の資格取得のために何としても学業を続けなければならず、アルバイトに精を出し体調にまで気配り出来ない日も多かったと思います。

幸い、透析導入後は、とても体調が良く、無理を続けたにも関わらず、何の支障も無く整体師の資格を取得できました。資格取得後は、整骨院に就職し、周りの理解と協力に支えられ、整体師としての仕事に励んできました。

雪子 私は透析導入後は、とても体調が悪く、仕事を継続することができず自宅療養に専念してました。一年程でアルバイトに就ける状態とはなりましたが、やはり、空しさを感じる毎日でした。

文通コーナーで友達に

そんな毎日の中、全腎協の機関誌に掲載されている文通コーナーを通じ、同年代の透析患者のサークルを知り、私もそのサークルに加入する事により同年代の透析仲間と知り合える事ができました。

サークルに加入後は、多くの仲間と透析についても話合っことができ、とても明るくなりました。

皿洗いのアルバイトをしながら

整体師の資格を取得

克成 私は当時サークルについては何も知らず、また、病院にも同世代の患者がいなかったため、孤独を感じる日も多かったです。その上、整骨院に就職後、白内障の手術を受けるなど現在、振り返るとよく、耐えていたと思います。—お二人が結婚に至ったのは、どのような経緯ですか。

克成 私も、東腎協の会報を読み透析患者のサークルに加入し、現在の妻と知り合いました。サークルの会合で何度か、顔を合わせましたが、初めは、全く意識もしませんでした。雪子 私も、主人は、眼中になかったのですが、主人を含む仲間数人とドライブに行き、その後、二

人で付き合うようになり、知り合ってから、四年後の平成八年に結婚しました。

—結婚するには、何か障害がありましたか。

雪子 お互いに、三〇歳を過ぎていましたし、特に身内からの反対もなく、すんなりと結婚しました。—結婚後の生活は、どのように送っていますか。

克成 私は、整骨院に勤務し、妻は専業主婦として、家事に専念し互いに透析を受けながら、松山千春のコンサートや、観劇など、共通の趣味を楽しんでいます。

雪子 二人とも、透析患者同士でお互いの、体をいたわり合えるしとかにかく、いつも明るく、楽しく生活しようと思っています。

勤務先倒産で独立

克成 本当に順調な結婚生活でしたが、昨年の平成二十二年八月に勤務先の整骨院が倒産し、収入源を

絶たれてしまいました。他の整骨院で働く事も考えたのですが、妻の勤めもあり、昨年九月より、自宅近くの、笹塚駅前に、整体院を開業しました。

マンションの一室で始めましたが、家賃、器材購入などに、一〇〇万円程の出費がかかり、貯金は、無くなってしまいました。

妻が、新聞の折込広告や、診察券をパソコンで作成したり、整体院での助手を務めてくれていたので、大変に助かっています。

雪子 お年寄りの方が、多いので、待ち時間などに、一緒にお話が出て、私もとても、楽しいです。

来院下さる方に、満足いただけるように、二人で力を合わせて行きたいです。

克成 まだ、開業から間もなく、収入も家賃程度ですが、今後、夫婦で協力し、整体院経営を成功させる努力を続けるつもりです。

とても明るく、爽やかなお二人でした。今後も、多くの方に必要とされる、整体院経営に励んでいただけるように、応援したいと感じました。

(文・カメラ/小野協子)



なまえ：みやざしゆきこ
生年月日：1965年3月15日
透析導入年月日：1988年

なまえ：みやざしかつなり
生年月日：1966年6月23日
透析導入年月日：1987年

なかまの たより

会員の皆さんから原稿を募集しています。うれしかった事や悲しかった事、苦しかった事などの闘病記、患者会の催し、ひとり言やカット、写真などなんでも気楽に書いて事務局へ送って下さい

豊生会日帰り

バス旅行

豊生会 中野 功一

私達、豊島中央病院豊生会は、九月三日（日）に川治温泉へ、親睦と日頃の疲れを癒しに温泉と会食とカラオケを楽しむ日帰り旅行へ行ってきました。当日は晴天に恵まれ、院長先生、松村先生等病院関係者が八名、患者会はご夫婦が三組と付添いを含め四〇名、合計四八名で、大型バス一台で行ってきました。

豊島中央病院入口の明治通りを七時四五分に出発、鹿浜から東北道に入りました。車内では、カラオケ等で賑やかに騒ぎ楽しんでる内に、宇都宮、鬼怒川を経て、龍王峡に着きました。売店のベンチで休む人、虹見の滝を見に涼風の山道を何段も降り、帰りは涼風に汗をかき元気な人、膝がガクガクになってしまった方もいました。ここから二〇分位の乗車で一一時二〇分頃待望の宿屋伝七に着きました。すぐに全員の集合写真を撮りました。

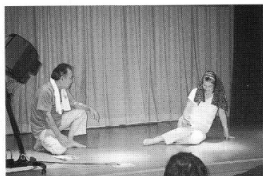
開宴までの間、宴会場の隣控



豊生会旅行。川治温泉・東山閣宿屋伝七

室で休息する人、ひと風呂浴びに、檜風呂、露天風呂、サウナ風呂と快い汗をかき、宴会までの時間をそれぞれ楽しく過ごしました。

宴会は一二時三〇分から二時間、カラオケを主に親睦をはかりました。また、この度結婚された山崎さんご夫妻に、会の規約に基づき金一封のお祝いを差し上げ、参加者一同で祝福を申し上げました。新婦さんより愛を込めて「だ



豊生会旅行の寸劇

んな様」を聞かせて頂きました。院長先生の歌に続き、透析歴二四年の渡辺勝氏の「涙をふいて」をトリにカラオケは打ち切りました。時間が足りない程の盛り上がりでした。その後、歌舞伎の「世話情浮名横櫓」の一幕をお富、松村先生、与三郎、岩崎文章氏の配役で演じられました。あらすじは、土地の親分、赤間の妾お富と深い恋仲になったことがバレた与三郎は、親分に三四ヶ所の傷をつけられる。お富は海へ投身するが、危ないところを救われる。それから三年後、思いがけずお富と再会した与三郎は頬かむりを取って、「い

やさお富」と対面し、「しがねえ恋の情が仇」と名せりふが続くのでした。

婦りは、お菓子工場と漬物工場に立ち寄り、東北道から外環美女木を経て首都高速に入り、車窓からは夕陽が雲をオレンジ色に染め、遠くには富士山を見ることも出来ました。無事に病院前に予定時刻通りに着き、楽しい雰囲気の中で一日を過ごす事が出来ました。

署名で学んだこと

個人会員 山田 二九夫

この度の署名運動は色々学ばせていただく機会でありました。これまで、自分の知人や友人に署名をお願いしていたのですが、今回は患者さんおひとりおひとりに現状をお話する絶好の機会ととらえ、透折日以外でも患者さんのお宅に伺い、医療（透折）の現状をお話し、これまでの患者会・東腎協の役割等を説明して、患者さんは勿論のことご家族の方々にも署名していただきました。

やはり、現在の自分の環境を考えた場合、先輩諸氏のためまご努力によっての現在を思わずに要

られませんでした。今後も患者会の発展と皆さまのご健康を祈りつつペンを置きます。

俳句

個人会員 溝口 幸夫

透折のあとの水菓旨さかな
飛鳥入水に遊ぶか亀形石
歌を詠む妹ありて良夜かな
透折は読書にあてて秋惜しむ
寒き朝止血バンドきつかりし

「青年部交流会」

『透折食料講習会に参加して』

天神橋クリニック腎友会会員

米山 浩代

私は、透折導入となり一年が過ぎましたが、わからないことばかりで不安な毎日でした。

今回の、青年部交流会、透折食料講習会へに参加して食事に対する考えが、一変したのと同じく、他の参加者の意見や経験談を聞けとても勉強になりました。

近近、私の知人も透折導入となりますが、私が青年部交流会で学んだことを伝えて行こうと思っております。



今後も、青年部の活動に、積極的に参加したいと思っておりますので、色々楽しい企画を計画して下さい。

脊椎管狭窄症手術を

克服して

東腎協副会長 原 三代吉

今年で透折二一年を迎えますが、会員の皆様のお役に立てればとがんばっております。私は少年時代から野球が好きで、社会人になっても野球に関ることが多く、教え



子の中にはプロ野球で活躍している選手もおります。透折導入後も一〇年ほど、町内会のチームの監督としてグラウンドに立ち、爽やかな汗を流した懐かしい思い出があります。

透折導入は昭和五四年一月でした。当時の透折医療は現在と異なり、機械の性能も効率も悪く、長期透折になるに連れて、アミロイドの沈着等の問題が生じ、手根管症候群、肩関節痛、足腰の痛みを訴える患者が多かったです。

私も、例外ではなく、透折一五年を迎える頃から、腰の痛み、左膝の痺れと激痛に悩まされはじめました。地下鉄東西線の葛西駅から高田馬場にある医療施設までの通院が困難で、車中座ることができなると大変困るので、ケア・デザイン・プラザのステッキチェア（杖が折り畳み式椅子になるも

(の)を利用しての通院には苦勞いたしました。

以前は数百メートル歩いて休むという状態でしたが、月日が経つと、立ち止まる間隔が短くなり、通院はもとより、東腎協の活動にも影響を及ぼすようになりました。深刻に受け止め、日本赤十字社医療センター整形外科の主治医の先生に相談いたしました。MRI検査を受けた結果、病名は脊椎管狭窄症と診断されました。原因はアミロイド沈着と年齢的な問題もあり、神経が圧迫されている痛みであることが分かりました。

また、新たに、脊椎のすべり(ずれ)が三ミリほどあることも分かりました。このままでは、一年後は車椅子の生活疑い無しと告知され、一瞬、目の前が真っ暗になり、絶望感に陥りました。その夜妻子を集めて話し合いをいたしました。今、手術をすれば治ると言った先生の言葉を信じて、手術を受けることを決断いたしました。八月二三日に入院、検査検査の日が続き、九月六日に手術が行われました。術後三日目で、歩くなど、スタッフならびに同室の患者の皆さんもびっくりしておられました。

野球をやっていたおかげで、骨が人より丈夫だったことが幸いしたようです。

手術後二〇日、退院することができました。現在は経過も良く、東腎協の活動にも参加することができ、家族ともども喜んでおります。今回の手術にいたるまでは、心配と不安が交錯して、いろいろありましたが、最終的には勇氣ある決断ではなかったかと思えます。入院生活を通じて感じたことは、

私たち障害者は、先生はじめ、スタッフの方々に励まされ、そして家族の愛にも守られていることです。感謝いたします。最後に私と同じ症状でお悩みの方がおられましたら、医学は日進月歩であり、手術の成功率も七〇パーセントといわれております。なにことも、前向きな姿勢で、成功を信じ、チャレンジしてみれば、いかがでしょうか。最後は勇氣と決断あるのみです。

〈参考図書〉

著者・久野木順一

「専門医がやさしく教える

腰痛」

発行所・PHP研究所

EPO訴訟を支援しよう

神奈川県腎友会のなかまにエス・ポ一 保険一部支払カットの嵐

関東ブロックのなかまの県であるお隣の神奈川県では、かねてから、エリスロポエチンの保険支払いをカットされる事例が多く、困っています。

私たちのQOL(Quality Of Life ..生活の質)はエリスロポエチンが投与されることにより、腎性貧血が改善され、劇的に向上しました。しかし、神奈川県ではヘマトクリットがやと三〇パーセントを越えた時点で、エリスロポエチンの保険支払いがカットされるので、また、貧血状態に陥り、そこで、新たにエリスロポエチンを投与して、ヘマトを上げるといふことの繰り返しては、患者は恒常的に、腎性貧血から開放されません。

神奈川の医師、中井先生が四月に神奈川県健康保険連合会を提訴した訴訟について神奈川県腎友会が支援を決定しました。東腎協では、「EPO訴訟を支援する会」の設立呼びかけ人に糸賀会長が加わりました。また、五月二三日にはじまった第一回公判から、七月七日、八月三〇日、一〇月一八日、二月六日と傍聴してきました。第六回公判は二〇一一年二月七日(水)午前一〇時から横浜地方裁判所民事庁舎民事一〇二号法廷で行われます。こちら側から準備書面を提出する大事な法廷です。参加できる人は傍聴しましょう。また、「支援する会」加入についてのお願ひ文を東腎協各患者会に出していますので、団体会員として何口でも結構ですから加入してください。個人会員の方は個人で加入お願いします。直接東腎協事務所までご連絡ください。入会案内を送付いたします。アドレッシング
http://
homepage.2nifty.com/epo/

大田病院腎友会

10

病院名 大田病院

所在地 大田区大森東四一四

わたしたちの患者会

・会行事

春：花見

秋：バーベキュー

冬：忘年会

毎年総会で来年度の

の会行事を提案し決めていますが、近年

役員にも高齢化が忍

び寄り、旅行は未定

案、忘年会も他の行

事と一緒にすることに

が多くなりました。

・会報 ある

月一回の発行が努

力目標だが、現実

は年六、七回くらいの発行です。

内容は東腎協からのもの、役員側

からのお知らせ、雑文など。

・病院との懇談

婦長と会長との話し合いが中心

で、役員全員と病院側との話し合

いはされていない。

・トラブルの解決の仕方

職員、役員、会員の三者で話し

合いをするが、役員の知らないこ



幹事の長谷川信さん

まとまりのある腎友会

ともある。

・特に強調したい会の特長

職員も腎友会に協力してくれる

ので、比較的まとまりのある腎友

会です。透析一〇〇〇回になった

日に会から金一封差し上げます。

・会成立年月日

昭和五十一年（一九七六年）

・東腎協会員数 五一人

・非会員数 一四人

・会費年額 九〇〇〇円

・内訳患者会費田三六〇〇円

・役員体制

月水金 午前四人（一名は会

計監査）夜三人

火木土午前一人（二名欠員）

・内訳

会長（広報担当兼務）一人

総務担当（事務同兼務）一人

組織担当二名

福祉担当三名

会計監査一名

また、総会時に、透析一〇年、

二〇年の会員に表彰状を、長年、

透析室に勤務されている看護婦、

テクニシャンには、感謝状を贈っ

ています。生きる励みになり結構、

がんばっています。



大田病院腎友会バ
ベキュー記念写真

共に生きる

⑫

加藤 茂

昨年の秋、長崎を旅行する機会がありました。きっかけは、映画館で観た「長崎ぶらぶら節」でした。なかにし礼作、長崎を舞台に吉永小百合と高倉健が共演する映画は、長崎が美しい町に描かれています。映画館に

は、たまたま格安のツアーのチラシが置いてあったので申し込みをしました。

一月中旬の土曜日、羽田発の一番機で長崎空港へ。グラバー園、出島、長崎県立美術館、崇福寺、長崎平和公園などを路面電車で見え回りました。

グラバー園から回りの景色を眺めた時、美しい風景だ、と思いました。平和公園の平和祈念像の前には花東が置かれ、多くの観光客が訪れています。長崎出身の彫刻家・北村西望作の像は一九五五

ツワブキ 初冬に向って咲く



ツワブキ

戦争犠牲者の冥福を祈る／是人種を超越した人間／時に仏、時に神／長崎始まって最大の英断と情熱／今や人類の最高の希望の象徴／長崎の大きな悲劇は、江戸時代のキリシタン弾圧、第二次大戦に原爆投下と二度も出合っています。原爆資料館へ行くと被爆した浦上天主堂の壁面の一部が復元模型とされ、二時二分(投下された時間)で止まった時計など展示されています。肌を感じる原爆の恐ろしさを目の当たりにしました。平和のありがたさを感じました。

せられた旅行でした。まだ正月の休みですが、木村さん、髭部さんは事務所に出てこの会報の発行のために必死で編集作業をしています。期日通りに原稿を集めることは困難を極めます。ほんとうにごくろうさまで、と思います。そして、私はレイアウトのお手伝いでやってきました。ツワブキは初冬に向って咲くところが好きです。葉は厚く光沢があり黄色い花を咲かせます。二一世紀が始まったばかりですが、今年も一生懸命生きなければ、と誓うのでした。(二〇〇一年一月)



長崎平和公園で拍った桜の葉

コラム おおつか発

透析の歴史を知り、 闘病の知恵を学ぶ

最近の透析患者の傾向として、ごく身近な目先のことには関心を示すが、過去の透析発展の過程には、あまり興味を示さない人が増えている。

今あえて新しく透析を始めた人に、私自身の体験を伝えたい。三〇年前、すでに腎不全状態にあった自分が味わった絶望感を。

患者会設立の動機である透析機器がまだ不足していた時代があったことを。

透析をやつと開始でき、一晩で心身ともに生き返ったときの感動を。

その後次々に発生する透析合併症による苦闘とその対応を。

新しい治療法や薬剤が開発されるたびに、何年もの悩みが一瞬のうちに解決し、生き延びられるという実感を得てきた。

今日、当然のごとく透析を開

始し、しかも被害にあったことく病気をとらえ、苦しきだけを訴える患者が多い。しかし厳しい環境を体験した者には、ちょっとした改善が幸せと感じられるものである。

一方、透析を過大評価し、透析さえしていれば、自己管理や患者会活動などは関係ないこと、少々羽目はずしても健康な人と変わらない精神力を持つことが一番だと信じて、無頓着に生きている人が増えている。

一見確立した医療に見える透析であるが、精神論だけで解決できるほど安定した医療とは思えない。まだ自己管理を必要条件とする未完成の補助的医療である。

今の透析医療の技術と環境は、簡単に手に入れたものではなく、多くの関係者の努力、もちろん患者自身の活動もあって、その結果もたらされたものであり、またその道の途中である。ことも忘れてはならない。過去の歴史から病氣と闘う知恵を身につけてもらいたい。

(高橋)

第13回腎臓病を考える都民の集い

—糖尿病の何が怖い、透析になったらどうしたらいいの—

日時：2001年2月4日(日)午後1時～4時

場所：豊島区民センター文化ホール(定員279人)

TEL03-3984-7601

入場無料

第1部 講演

- ①「糖尿病性腎症とうまくつきあうために」
講師 順天堂大学医学部
腎臓内科教授 富野 康日己 先生
 - ②「糖尿病性腎症での透析とのつきあいかた」
講師 順天堂大学医学部
腎臓内科講師 福井 光峰 先生
- 体験発表「糖尿病から透析になって」
三遊亭 歌奴 師匠(東腎協会員)

第2部 パネルディスカッション

司会 松村 満美子さん

パネラー

富野 康日己 先生
福井 光峰 先生
三遊亭 歌奴 師匠
糖尿病性腎症
(保存期)の患者さん

主催 東京都腎臓病患者連絡協議会 (東腎協)

事務局から

訂正とお詫び

前号「東腎協」No.一三五の特集P.3の写真の1と2が逆になっていました。訂正してお詫び申し上げます。

ご寄付お礼

(株) 扶桑薬品工業

東京第一支店様

毎月ありがとうございます。活動に役立てさせていただきます。

故井沢良雄様

(中目黒駅前クリニック腎友会幹事)ご遺族有志子様

心からご冥福をお祈り申し上げます。お志を活かし、東腎協の会員のために使わせていただきます。

老人保健法改正について

老人保健法が改正され、私たち透析患者の内、マル障の「一部」と記された受給者証を持つ方の一部自己負担が変わります。透析医療費についてはマル都を皆さんお持ちと思いますので自己負担は生

じませんが(入院時食事代を除く)、他の病気で受診されたとき左記のように自己負担が変わります。

病院…定率一割負担

二〇〇床未満…上限五〇〇〇円

二〇〇床以上…上限五〇〇〇円

診療所…診療所が定率一割か、

定額制一回八〇〇円(一ヵ月四回

まで)を選択する。

詳しいことを知りたい方は東腎

協事務局までお問い合わせください。

い。

〈編集後記〉

一〇月末頃から座骨神経痛で大変な目に合い、最近ではカリウムが高くなって、何年かぶりで三日連続の透析と、体にムチ打つての編集作業でした。(かるべ)

押し詰まって、暮れの三〇日に、軽部さんと原稿揃えの一日、糸賀会長も、原稿校正に来局、年末も年始もない透析患者だからできることかも。(きむら)

表紙の言葉

東腎協常任理事

東野 榮夫

正月の花といえばシクラメンが一般的で、皆に愛され、その華やかな豪華さから、どこの家でも一鉢は、玄関等に飾ってあります。

一月の晴れた日、表紙写真撮影のため、町田市にある花栽培場を、久しぶりに訪れました。その

花栽培場の三棟の大温室の中は、例年のようにシクラメンの鉢で埋め尽くされていました。

写真撮影をお願いすると、快く承諾してくれました。温室に入り

中を見渡すと、女性が向き合い、シクラメンの一鉢一鉢を、丁寧に手入れしていました。上の写真がそれです。

家に帰り、早速、写真を確認すると、残念ながらシクラメンの花が、まだ定期的に小さいのです。

一〇日後、再び訪れると、今度はシクラメンの花、花だらけでした。

その写真が表紙です。太陽をいっぱい浴び、鉢の手入れをしている様子を写してみました。私自身、大変幸せな気分になりました。写真の人の言葉は「見事なシクラメンの花の中で、働けるのは最高です」でした。



上信越高原国立公園

苗場は自然ど真ん中！

四季折々花雪ごよみ

(スキー宿の予約10月1日より)

●腎不全・血液透析の方のお食事を 家庭的レシピでお献立（予約制）

ストレス解消、ご家族の休息に、ご利用お待ち申し上げます

1泊2食付 平日 6,500円

休前日 7,500円

- 透析のご紹介はできませんのでご了承下さい。

苗場スキー場へ徒歩0分！

《天然活性ミネラルの湯》 白樺の宿 **アイ苗場**

〒949-6212 新潟県南魚沼郡湯沢町三国469-41

☎・0257 (89) 2255 FAX・0257 (89) 2447

Eメールアドレス ainaeba@fancy.ocn.ne.jp

<http://www.gerson.co.jp>

電子レンジで3～4分！

クックチルタイプの手料理を全国にお届けしています

- TYPE-1… カロリーコントロール食
- TYPE-2… 低蛋白質食
- TYPE-3… 透析食・低リン食

宅配 食事療法 システム

■資料のご請求・お問い合わせは■

TEL 03-3726-9222

FAX 03-3726-9700

〒145-0061

東京都大田区石川町1-20-2-102

有限会社ゲルソン商会

透析により欠乏しやすい栄養成分の補給に

— L-カルニチン、水溶性ビタミン、ミネラル —

透析中の皆様のために開発された

Carfero

カルフェロ 栄養補助食品

新発売

《こんなことが気になる方に》

- 透析中、透析後のケイレンや倦怠感
- 透析中、透析後の低血圧
- 血中の中性脂肪やコレステロール値
- 心臓の機能が低下している
- 貧血気味である

カルフェロは、透析療法を受けておられる皆様のQOL向上を目的に、透析専門医の協力を得て開発された栄養ドリンク剤です。

透析により流出し、欠乏しやすいL-カルニチンと水溶性ビタミン（ビタミンB1、ニコチン酸アミド、ビタミンB6、葉酸）、鉄などのミネラルを効果的にバランスよく配合しました。



1 瓶 200 円(税別)

製造元 滋賀県製薬㈱ 内容量 50ml/瓶
発売元 ベータ食品㈱

表示単位 1 瓶(50ml)中 (エネルギー20.5kcal)

たんぱく質	0.7g	L-カルニチン	50mg
脂質	0.0g	ビタミンB1	10mg
糖質	6.7g	ビタミンB6	50mg
ナトリウム	20.9mg	ニコチン酸アミド	50mg
カルシウム	0.5mg	葉酸	1mg
カリウム	2.5mg	鉄	4.5mg
リン	2.5mg	クエン酸	250mg

■ L-カルニチン摂取による効果

L-カルニチンは、アミノ酸の一種で体内で脂肪を燃焼させるために必要不可欠な物質です。このL-カルニチンの血中濃度は、透析前に比べ透析終了直後には20%程度にまで低下します。L-カルニチンを摂ると、透析終了直後のひどい倦怠感や下肢の痙攣発作（こむらがり）や異常な低血圧発作が抑えられることが報告されています。また、血中の中性脂肪やコレステロールを低下させることや貧血の改善に役立つこと、さらに心臓の心収縮力を維持、強化する働きがあることから不整脈や心不全などの発作を防ぐ作用についても報告されています。このように透析を受けておられる皆様のQOLを改善するうえで、カルニチンを補給することの必要性がお分かりと思います。※本品のL-カルニチンは、天然含有品を使用しております。

■ 商品のご購入・お問合せ

ベータ食品株式会社 フリーダイヤル 0120-831-123 (受付 平日 9:00~18:00)

1箱 50 本入り 販売価格 11,100 円(税・送料込) 内訳 商品代 10,000 円 送料 580 円 消費税 520 円

1箱 10 本入り 販売価格 2,490 円(税・送料込) 初めてご利用される方のために用意しました。

〈商品の発送〉ベータ食品より日通ペリカン便にてお届けいたします。

スーパー温浴風セツト



かゆみ、体調不良、体重管理、 冷え、痛み等でお悩みの方

1週間無料体験モニター募集中

モニターのお申込は、
オンキョーリブ(株)お客様相談室 TEL0120-31-8065まで

既に全国の会員の皆様は四年間、愛用されつつ『湯カッ&と』は、
特許の様々な仕組みにより、40℃～50℃の低温で血流量を増やし、無理なく発汗させます。

お客様の声

○ほとんど出なかった汗が今では流れるように (透析歴6年 男性)

当初は、汗がほとんど出なかったが、今では流れるほどの汗が出る様になり体重管理が楽になった。透析中に血圧が下がったり、こむら返りが起きるなどのトラブルも少なくなった。体が温まり、体調が良く、風邪もひかなくなった。

○血圧が安定してきた (透析歴6年 女性)

血圧が高く冬は特に上昇するが、「湯カッ&と」を使用する様になってから冬でも血圧が上昇しなくなった。体が温まり、主人も糖尿病なので使用させた。

○新陳代謝も活発になり、顔色も良くなった (透析歴5年 男性)

「湯カッ&と」を1年半使用しているが、発汗量も増え、30分間の入浴で500cc～800cc位の汗が出る。体も温まり、新陳代謝も活発になる為、皆から顔色がいいねと言われる。

- 体重管理が楽になった。
- 体が温まり脚力が良い。

○体重管理にすぐ役立つ (透析歴19年 女性)

「湯カッ&と」を使用することで、以前は2kgの体重増加でしたが、1.4kg～1.5kgで、透析に行く事ができる。発汗できる事で、ストレスの解消にもなっている。夜もぐっすり眠れる。

○家族みんなの健康管理 (透析歴2年 女性)

私は身体が温まり、汗も200～300ccくらいでるので、とても体調がよく、私だけでなく家族の健康管理にみんなで使っています。

○手足の痛み、しびれ、かゆみにも効果的 (透析歴15年 男性)

私は患者さんの紹介で「湯カッ&と」にめぐりあう事ができました。色々な合併症があり、手足の痛み、しびれ、かゆみ等の、悩みが解消されました。一般のサウナへ入れば、高温で長く入れませんが、「湯カッ&と」は、低温で負担が少なく長く入れ、汗がジワジワと流れ、とても快適です。

「湯カッ&と」は、僅かな湿り気を含む温風により、お風呂のような水圧もなく、サウナのような熱の負担もなく、身体を芯から温め、無理なく発汗させます。

- お部屋でテレビを見ながら簡単に使用できます。
- 組立、後片付けがラクラク！
畳一帖分のスペースでOK。
- 好きなところで好きな時間に入浴。
- 熱さや息苦しさのないリラックス入浴。
- 熱くなく多量に発汗。
- 1回30分の入浴は
わずか5～9円の電気代で
使用でき経済的。
- 体の芯まで温まり、家族みんなの
美容と健康に効果的。
- 乾燥機能が付いて衛生的。



定価 218,000円 → 会員割引 174,400円(税抜き)

月々4,100円より分割払いOK(3～36回)

世界7ヶ国特許商品

通商省認可商品第81-22557号

パンフレット、モニターを希望される方は下記までお気軽にお問い合わせください。

オンキョーリブ(株)お客様相談室

TEL 0120-31-8065まで

オンキョーリブ株式会社 西日本営業部 〒572-0028 大阪府豊屋川市日新町1番13号

TEL(072)-831-8090 FAX(072)-831-3263

http://onkyoliv.onkyo.co.jp

誕生。バリ島の透析センター。

バリ・リーナル・センター



素肌を心地よく吹き抜ける、緑の風、手のひらからこぼれ落ちる、澄んだ水。バリ島は、訪れるすべての人々をいつも清らかな表情で迎えてくれます。バリ・リーナル・センター(BRC)は、バリ島の美しい自然に恵まれた環境で、質の高いケアをご提供するために誕生した透析センターです。



- 透析ベッド数:10床/○透析療法:通常透析(HD)、○ハイパフォーマンスダイライザー透析(High Flux Dialysis)、/ろ過透析(HDF)
- 透析機器: Fresenius 4008、/水処理装置: Retok/○水質基準: AAMI基準
- サポート施設: Bali Gianyar General Hospital, Sanglah / Hospital in Denpasar
- 勤務医: 2名/○透析技士: 1名
- 看護婦: 4名/○透析時間: 午前8時から12時及び午後1時から5時までの4時間

*1-The Association for the Advancement of Medical Instrumentation
バリ島の中心、ウブドから程近い絶好のロケーション、(ウブドから車で約25分、国際空港から約70分)

■バリ・リーナルセンター

住所: Bali Renal Center, Tegalsuci,
Tegallalang, Bali 80561,
INDONESIA

TEL: +62 361 978841

FAX: +62 361 978840

■お申し込み

電話・FAX・メールもしくはホームページからご連絡ください。申し込み用紙、費用その他詳細資料を送付させていただきます。

なお、申し込みには最新の透析データ・条件などの情報や主治医のサインが必要となります。

Tel: 03-5946-4190, Fax: 03-5984-5461

e-mail (brc@nrc-i.co.jp)

Home Page (<http://www.nrc-i.co.jp/brc/>)

